

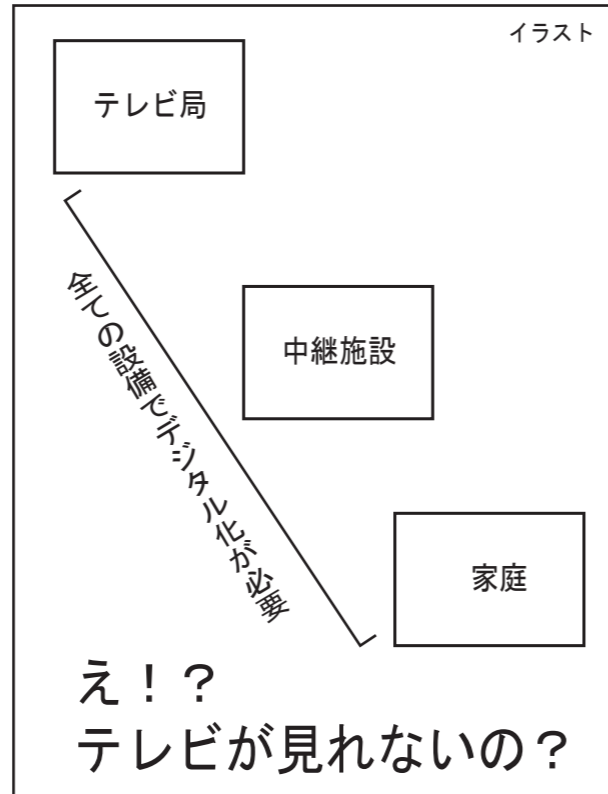
どうしてケーブルテレビにするのですか

現在のテレビ放送は6年後に終了してしまいます。

現在のアナログ放送は、平成23年に終了し、デジタル放送に変更されます。既に、一部の地域ではデジタル放送が始まっていますが、当面は、アナログ放送も継続されます。デジタル放送を視聴するためには、放送局や家庭だけでなく、電波を中継する施設なども含めてデジタル放送に対応した設備が必要になります。しかし、木曾地域ではNHKなどの中継施設はデジタル放送に対応する具体的な計画がありません。

デジタルテレビ放送に対応した受信のためのシステムづくりを急ぐ必要があるのは、こうした背景によるものです。
(また、本事業では、各家庭でデジタルテレビを購入しなくても済むよう、従来のアナログテレビでデジタル放送を試聴できる仕組みの実現に努力しています。)

ケーブルテレビで大丈夫



難視聴エリアでは、共聴施設の更新が必要になります。

難視聴地域では、これまで共聴施設の整備により電波を受信してきました。しかし、デジタル地上波に対応する共聴施設を整備するためには、これまでよりも費用がかかります。ケーブルテレビにより、新たな施設の整備を行う必要はなくなります。

ケーブルテレビで大丈夫

今なら国の補助等が期待できます。

国では、e-japan政策の一貫として、地方におけるケーブルテレビの整備を促進しており、今なら国の補助が期待できます。デジタル放送に対応できる受信施設をケーブルテレビによって構築するのは、今を置いて他にないです。

ケーブルテレビで大丈夫

ケーブルテレビで大丈夫

ブロードバンドを利用できない地域があります。

木曾地域には、ブロードバンドサービスを利用できない地域があり、これらの地域では、ISDNを利用する必要があります。ケーブルテレビにより早く安定したインターネット接続環境を提供することができます。

ブロードバンドインターネットを利用することで、テレビ電話、動画の配信、ネットワークゲームなどが利用可能になります。

ケーブルテレビで大丈夫

インターネットで

買い物
ゲーム
映画鑑賞

したい

ブロードバンドで広がる
新たなインターネットの世界

こんなにあるケーブルテレビのメリット

メリット1

ケーブルの中を電波が通るので電波障害がなく画像がキレイです。また、アンテナも不要で台風の季節も安心です。

メリット2

自主放送番組などを制作し、役場からのお知らせや学校行事など、地域に密着した番組を提供します。

メリット3

木曾地域内の電話・FAXの通話料が無料になります。